

1 事業評価の意義

① 組織的・継続的に改善する体制づくり

事業評価を行うことにより、評価結果を事業に反映し、翌年度予算編成や事業計画に反映させる「計画(Plan)―実行(Do)―評価検証(Check)―改善(Action)」のPDCAマネジメントサイクルを機能させ、継続的な業務改善・サービスの向上を図る。

② 松戸市民に対する説明責任

評価結果を公表することにより、成果と課題を明らかにし、市民に対して、公の施設としての社会的説明責任を果たし、公的事業の透明性を図る。

③ 課題や成果の共有

外部評価を実施することにより、外部とのコミュニケーションや情報の共有を重視しつつ、職員自身の学習効果と組織強化につながるしくみを展開する。

2 事業評価の進め方

事業評価は、**単年度と中期（3年、3年、4年）、長期（10年）**でそれぞれで進捗状況や目標の達成度を評価し経年変化で検証する。

評価指標ならびに評価の実施方針は、初年度の令和5年（2023年）に活動を行いながら検討し令和6（2024）年度事業を令和7年（2025）年度に試行的にとりまとめ、**松戸市立博物館が内部評価（1次評価）を行った後、松戸市立博物館協議会による外部評価（2次評価）を行い、その結果を事業評価報告書として公開する。**

3 事業評価の実施内容

内部評価と外部評価は、下記のとおり実施する。

評価の種類	評価実施者	実施方法
内部評価 1次評価	松戸市立博物館	「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画」から指標の目標値を定め、目標に対する成果と課題を明らかにし、評価コメントを記載する。
外部評価 2次評価	松戸市立博物館協議会	博物館協議会が行う。内部評価の結果の報告を受けた後、専門的な見識から評価を行う。

4 事業評価スケジュール

松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画期間（R5～R14／2023～2032）												
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	
運営状況	(計画)	開館（リニューアル工事前）			休館（リニューアル工事中）			開館（リニューアルオープン後）				
	(現状)	開館（リニューアル工事前）		R8年1月 ～休館（工事）	R8年9月 ～開館 ※令和9年度に工事を再検討予定							
評価	単年度	準備期間	試行	実施								
	中期	第1次・3カ年			第2次・3カ年			第3次・4カ年				
								○				○
	長期										○	
指標の見直し					○			○				

リニューアル工事は一時停止となったが、事業評価については継続していく。

5 松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の事業評価の枠組み

① 事業評価の概要

松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画体系図「具体的な取組」から指標の目標値を定め、目標に対する成果と課題を明らかにし、評価コメントを記載する。

② 評価の対象

「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画」に基づく指標を定め、達成状況を検証・評価する。

③ 評価の時期

毎年度初めに、前年度の取組内容や進捗状況などをとりまとめ、松戸市立博物館が内部評価（1次評価）を行った後、松戸市立博物館協議会による外部評価（2次評価）を行い、その結果を事業評価報告書として秋頃公開する。

